

—倫理審査申請書 兼 意見書—

Application form for Ethics Review / Ethics Statement for Ethics Review

倫理審査を申請する研究 / Research Overview

| | |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 申請日 | |
| 研究テーマ | |
| 研究従事者 | |
| 審査を受ける理由・論点 | ※審査を受ける理由や、論点となるポイントを記載してください 例：新規提案のため、ユーザテストを実施するため、**に懸念があるため |
| 研究概要 | ※研究計画書がある場合は不要です。計画書のリンクを添付してください。 (目的) (方法) (期間) (予算) |
| 共同研究機関の有無 | 有・無 (有の場合は以下を記載) (機関名) (共同研究機関の研究者) |
| 研究実施体制 | ※研究実施メンバーと分担について記載してください。 研究責任者の氏名の横に◎、個人情報を始めとするデータを扱う場合は、データ管理責任者の氏名の横に○をつけてください。 |
| 添付資料一覧 | ※その他添付資料があれば記載してください。なお、ユーザーテストを実施する場合は、本申請書に必ず同意書を添付してください。 例： UT説明・同意書(URL) 実験手順書(URL) |
| 特記事項 | |

研究開発倫理指針/Ethical Principles for Research and Development Activities

メルカリでは、研究活動の信頼性と公正性を確保することを目的とし、研究活動上の基本的な倫理指針を定めています。契約形態に関わらず、研究活動に従事する全てのメンバーが対象となるので、申請者は必ず目を通してください。不安な点がある場合は、ELSI研究担当者や倫理審査委員会の場で相談するようにしてください。

チェック項目/Checklist

この項目はフルチェックリストの簡易版です。

| |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①共同研究や業務委託を行いますか、または公的研究費を受託しますか |
| <input type="checkbox"/> はい →共同研究や業務委託を行う、または公的研究費を受託する場合の項目をチェックのうえ、記述欄の記入へ進んでください <input type="checkbox"/> いいえ |
| ②ユーザーテストや実証実験を実施しますか |
| <input type="checkbox"/> はい →ユーザーテストや実証実験を実施する場合の項目をチェックのうえ、記述欄の記入へ進んでください <input type="checkbox"/> いいえ |
| ③個人に関する情報を取り扱いますか、または取り扱う可能性がありますか |
| <input type="checkbox"/> はい →個人に関する情報を取り扱う場合の項目をチェックのうえ、記述欄の記入へ進んでください <input type="checkbox"/> いいえ |
| ④いずれも該当しません |
| <input type="checkbox"/> はい →本項目のチェックはスキップし、記述欄の記入へ進んでください |

共同研究や業務委託を行う、または公的研究費を受託する場合

- [不正行為の防止] 関係機関が不正行為防止対策を行っていることを確認している。
- 各機関が、不正行為防止のためのガイドライン等を整備していることを確認した。当該機関にガイドライン等が整備されていない場合は、社内の諸規程を遵守する。
 - 各機関が、不正行為を未然に防ぐ取組みに努めていることを確認している。具体的には、不正行為防止の教育を受けている、不正行為の報告窓口が設置されている、不正行為防止ガイドラインを整備している等が該当する。

| |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><input type="checkbox"/> [研究開発費の適正な使用] 研究開発の推進にあたり、適正な予算執行を行う体制になっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 必要性・妥当性を十分検討した、必要不可欠な精確な予算を計上している。また、研究費の変更が生じた場合は、社内プロセスに則り手続きを行う必要性があることを把握している。 ● 共同研究機関においても、適切に研究費用の管理が行われている。(例: 研究費の取扱いに関する内規や経理担当者の有無) ● 公的研究資金を獲得する場合、公的研究資金に基づく研究実施ガイドラインの内容を確認している。 |
| <p><input type="checkbox"/> [契約の遵守] 複数の大学や機関等が相互に共同研究契約を結んでいる場合、役割分担や知的財産権の整理等が明確でまたそれぞれが納得のできる内容になっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 研究データ、論文、実装物等、研究成果の帰属先が明確になっている |
| <p><input type="checkbox"/> [契約の遵守] 共同研究や業務委託を行う際、守秘義務のために必要な契約を取り交わしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 共同研究をする上で、機密情報の取扱いがある場合、NDAの締結をしている。 |
| <p><input type="checkbox"/> [契約の遵守] 外部の関係者に業務の委託を行う際は、セキュリティ担当チームのチェックを受けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 委託先の所在国が日本国以外で、機密情報に日本国以外からアクセスする場合、セキュリティ、及びリスク担当チームのチェックを受けている。 ● 必要に応じて社内のデバイスを送付し、当該デバイス上で作業をしてもらうよう外部関係者と合意がとれている。 |
| <p><input type="checkbox"/> [利益相反の適正なマネジメント] 利益相反が生じる可能性を適切に把握している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 意思決定者(ボードメンバー等)やその利害関係のある機関が研究プロジェクトメンバーに入るなど、利益相反が生じる可能性について把握している。 ● 社員が個人的に関係のある者が研究プロジェクトメンバーに入るなど、利益相反が生じる可能性について把握している。 ● 利益相反が発生する場合、計画書等に内容を記載し透明性を確保することや、関係する意思決定者を審議から外し公正な意思決定を図るなど、一定の利益相反マネジメントができている。 |
| <p>ユーザーテストや実証実験を実施する場合</p> |

| |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> [契約の遵守] ユーザーテストを行う際、守秘義務のために必要な契約を取り交わしている。 <ul style="list-style-type: none"> ● ユーザーテスト実施時、機密情報の取扱いがある場合、被験者らとNDAを締結する、または同意書内に相当する項目を含んでいる。 |
| <input type="checkbox"/> [契約の遵守] 同意書作成にあたり、必要なフローを把握している。 <ul style="list-style-type: none"> ● 同意書雛形から文言の変更がある際は、リーガル及びプライバシー担当チームからのレビューが必要であることを理解している。 |
| <p>個人に関する情報を取り扱う場合</p> |
| <input type="checkbox"/> [個人情報の保護] 個人に関する情報を扱う場合、社内規程に基づき適正な取り扱いを行っている。 <ul style="list-style-type: none"> ● 個人情報や情報資産の取り扱いに関する社内ガイドラインを確認し、社内定義、機密レベル、必要な手続きについて内容を理解している。 ● 個人に関する情報の管理主体が誰(社内か、社外か)であるかを認識している。 ● 共同研究等により社外の者が社内の個人情報を管理する場合(そのために社内の個人情報の受け渡しを行う場合)、情報資産の取り扱いに関するガイドラインに記載されている手続きを行う必要性を認識している。 ● 個人に関する情報を第三者へ提供する場合、提供根拠(プライバシーポリシーや同意書等)、および提供先との関係(委託/第三者提供)を整理できている。 |
| <input type="checkbox"/> [個人情報の保護] 個人に関する情報を扱う場合、適切な形で取得・提供をしている。 <ul style="list-style-type: none"> ● 個人に関する情報を研究対象から収集する場合は、必要以上の情報を収集しないことを認識している。 ● 取得または提供するデータは、個人を識別できる情報である必要があるのかどうか、取得・提供目的を今一度確認している。 ● 個人に関する情報を取得する際、研究対象への十分な説明を行った上での事前同意が得られており、同意した人/内容の情報のみ取得する設計になっている。また同意の撤回が可能な状態になっている。 |

記述項目/Open Question

この項目はフルチェックリストの簡易版です。

研究の初回提案時は**1, 2, 3**を記入してください。ユーザーテストや実証実験の実施時は**3, 4, 5**を記入してください。その他不安な点や相談したいことがある場合は、**6**に記入してください。

1. [多様なステークホルダーの包摂と熟議] 研究のデザインやプロセスに多様なバックグラウンドの人々の参加や意見を収集する機会が含まれていますか、または予定していますか。多様なバックグラウンドの具体例は[I&Dステートメント](#)を確認してください。

2. [研究成果による潜在的なインパクトの認識と考慮] 研究のポジティブなインパクトとネガティブなインパクトについて記述してください。ネガティブなインパクトの想像が難しい場合は以下の典型的な観点を参考にしてください。

- 悪用される可能性、偏見や差別に繋がる可能性、特定の人に不利益を生む可能性など
- エネルギーの大量消費、環境中への有害物質等の排出、資源の無駄使い等により環境破壊に繋がる可能性など
- 研究対象の自由な意思や自律性を妨げたり、プライバシーを侵害するような可能性など
- 肉体・精神・心理的な疲労など

3. [研究成果発信とコミュニケーション] 研究成果を公表・公開する形式を記入してください。例として、論文、OSS含む実装物、特許、プレスリリース、YouTube動画などがあります。必要に応じて、倫理審査の場にて研究成果発信時に誤解や炎上を招く可能性やそのリスクについて議論します。

研究成果の公表形式:

4. [多様なステークホルダーの包摂と熟議] ユーザーテストを実施する場合は、被験者やプロセスにおいてI&Dを確保する工夫を行っているかについて記述してください。

5. [研究対象の保護(安全・健康・福祉への配慮)] ユーザーテストを実施する場合は、被験者やプロセスにおいて肉体・精神・心理的な疲労、感染症の感染リスクなど、研究対象の安全・健康・福祉に十分に配慮し、必要な措置をとっているか記述してください。以下は例です。
- インタビュー参加者の心身的な疲労を考慮し、10分の休憩時間を設けている
 - 感染リスクを考慮し、マスクの着用を十分に周知し、検温、デバイスや机の消毒を行った上で、十分な距離を保つことのできるインタビュー環境を用意している

6. 自由記述欄(任意)

その他、不安に思っている点や相談したいことがある場合は、記載してください。

審査結果/Result

1. 概要

| | |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 審査日 | |
| 審査参加者 | |
| 結論 | <input type="checkbox"/> 承認 <input type="checkbox"/> 条件付き承認 <input type="checkbox"/> Closed (Link) <input type="checkbox"/> 中止を推奨 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 書面審査にて承認 |

2. 詳細結果と理由・コメント

(1) 不正行為の防止

| |
|--|
| |
|--|

(2) 研究開発費の適正な使用

| |
|--|
| |
|--|

(3) 契約の遵守

| |
|--|
| |
|--|

(4) 利益相反の適正なマネジメント

| |
|--|
| |
|--|

(5) 環境・社会への配慮

| |
|--|
| |
|--|

(6) 研究対象の保護

- | |
|----------------------------------------------------------------------------------|
| <ol style="list-style-type: none">1. 人権の尊重2. 安全・健康・福祉への配慮 |
|----------------------------------------------------------------------------------|

(7) 個人情報の保護

| |
|--|
| |
|--|

(8) 多様なステークホルダーの包摂と熟議

| |
|--|
| |
|--|

(9) 研究成果による潜在的なインパクトの認識と考慮

| |
|--|
| |
|--|

(10) 研究成果発信とコミュニケーション

| |
|--|
| |
|--|

(11) その他

| |
|--|
| |
|--|

以上